銀行の窓口担当に、これら5つの「マジックワード」を言ってみてください。あなたは一掴みの銀を手にして銀行を後にすることができるでしょう…

「まさか本当にうまくいくとは思いませんでした。でも本当でした！私は試してみました。そして驚いたことに、一箇所の銀行だけで、34枚の銀貨を受け取ることができたのです。もちろん、また行って、もっと手に入れます。素晴らしいアイデアに感謝しています！」
—モーリー・D・タイラー、テキサス州

私は最近アメリカのリテールバンキング・システムの抜け穴に関するとんでもない噂を耳にしました…

それは、アメリカでは、事実上FDIC（連邦預金保険公社）加盟銀行ならどこでも、「実際手にすることができる」銀がもらえるというものです。ただ5つの単純な、ただし明確に定められた言葉を発するだけで——この噂によると——数分後には、完全に無料の取引の一環として、一掴みの銀を手にして銀行を後にすることができるというのです。

銀をもらいに行きたい銀行に口座を持っている必要さえありません。

私が耳にした情報は、全く驚くべきものです。

いくつかの事例に耳を傾け、私の言っていることを実際にお確かめください。

「銀行の窓口担当に、宝を取りに来るように言われたときは、本当に興奮しました！　私は米国市民の権利として、18オンスの銀を無料で手に入れることができたのです！」——マーク H.，バージニア州フラミンガム

「私は8カ月間これをし続けただけで、既に160オンス以上の銀塊を手に入れました」——ジョンC., Partham, マサチューセッツ州パータム

「地元のスーパーにある銀行でちょっと頼んでみたんだ。そしたらどうなったと思う？　銀行は私に約6オンスの本物の銀をくれたんだ！　銀行の窓口は、銀が処分できて喜んでいたよ。すっかり病み付きになってしまった！」——B.N.、 テネシー州クックビル

私の言わんとすることに誤解のないよう、念のため説明しておきたいのですが…

これは、新しい銀行口座の開設についてお話ししているのではありません。銀を安く手に入れたり、額面より価値が高い硬貨のことをお話ししているわけでもありません。普通の銀行に行って、5つの特定の言葉を窓口に伝えれば、ちょっとした無料の手続きの後……そうなんです、おそらく数百ドルに相当する一掴みの本物の銀を手にして銀行を後にすることができます。

信じがたいことですが、これが本当にあり得るんですよ。

なんといっても銀は、この数十年間、最高のパフォーマンスを示してきた資産の一つです。その価値は、2001年時点に比べ375%以上になっています……その上、数多くの金融の専門家が、今後もっともっと上昇すると予想しています。

しかし、いったいどうしてそんなことがあり得るのだろうと、不思議に思われるでしょう。

非常に価値のあるこのような資産を、基本的に無料で手に入れることができる金融システムの抜け穴が、本当に存在するのでしょうか？　そして、それは合法的な手段なのでしょうか？　もしかしたら不道徳だったりするのでしょうか？

この噂を初めて耳にしたとき、私はまさにこれらの疑問を抱きました。そこで、全国的に独自調査を始めたのです。完了するのに3カ月以上かかりました。**このレターの中で、私が発見したことをお伝えします。**とにかく、私が発見したことを知れば、驚かれると思います。

ところで、私は、ドクター・デイヴィッド・アイフリヒという者です。友達からは短く「ドック」と呼ばれています。

私はスタンズベリー＆アソシエイツという独立系の調査会社でファイナンシャル・アナリストをしています。その民間会社の本部は、メリーランド州のボルチモア、マウント・ヴァーノン地区にあります。当社のゴールはシンプルです。債券、株式、コモディティーから不動産、オプション、租税先取特権、個人年金まで、そのたさまざまについて独自の金融調査を行い、教育を提供することです。現在、当社グループは、調査レポートの有料購読者を120ヵ国以上に40万以上抱えています。

スタンズベリー＆アソシエイツにおける私の専門分野はユニークです。私はウォール街で10年間トレーダーとして働いた後、医者としてさらに10年働きました（今でも専門医試験の受験資格を有する眼科外科医です）。このため、アメリカで最も大きく、最も重要な2つの産業――金融業界と製薬業界――の内部構造を学びました。

今は主に、ほとんどのアメリカ人がこれまで聞いたことがないようなリタイアメントのチャンスや抜け道の世界を明らかにするために、自分の時間の大半を費やしています。

そんなとき、この信じられないような銀の抜け道に遭遇したのです。これは私のこれまでの発見の中で、最もずば抜けたものかもしれません。

もちろん、この話を初めて聞いたときは、私も懐疑的でした――FDIC（連邦預金保険公社）加盟銀行へ行って、実際に**5つの「マジックワード」**を言えば、銀が無料でもらえるなんてね。

そこで、私はある計画を思いついたのです。

まず、私の記事の読者たちにお知らせを送りました。すると、全国からあらゆる階層の約250名の人々が、銀の「抜け穴」を試したいと申し出てくれました。私はその人たちに、大銀行、小銀行、地方銀行など、行くべき場所に関する指示を与えました。そして、何をして、またもちろん何を言えばいいのかということを伝えました―**いいですか。5つの簡単な言葉が重要なのです。**

そして、その人たちに、何を体験したか尋ねました。

まもなく、報告が入り始めました。

最初に返信をくれたのは、テキサス州のタイラーにお住まいのモーリー D.とおっしゃる男性でした。モーリーは、自宅のすぐ近くにあるバンク・オブ・アメリカで**「5つのマジックワード」**を試してくれたのです。

彼は、こう言いました、、、

（以下省略）